

実証成果 (株) 鈴生 (静岡県静岡市)

実証課題名 生育予測とQRコードを活用したスマート商流システムによるトレーサビリティの確立とこれに伴う輸出拡大、並びにスマート農機の利用拡大の実証

経営概要 161ha(レタス103ha、ブロッコリー10ha、枝豆25ha、その他露地野菜23ha)
うち実証面積:レタス5ha、ブロッコリー10ha



導入技術 ①生育予測技術 ②スマート商流 (QRコードによるトレーサビリティシステム、ブロッコリー花蕾分割選別装置) ③野菜輸出 ④コントラクター事業



- 目標**
- 生育予測システムにより、レタス廃棄率を収穫量の2%以下、QRコードシステムの満足度70%以上を獲得
 - 2か国以上で収益を確保できるかを調査、ブロッコリー花蕾分割選別装置を活用し、新規販売先を3社確保
 - 運送会社の積載効率アップによる売り上げ10%増、コントラクター事業を利用する農家・企業を2戸以上

1 目標に対する達成状況

○QRコードを添付し、レタス・リーフレタス・ブロッコリーを出荷した。バイヤー、一般消費者にアンケートを実施し、バイヤー(10社)では、満足度70%(30%は未使用)であり、使用していただいた方の満足度は100%だった。一般消費者33名のアンケート結果では満足度93.9%を確保し、目標達成した。
○花蕾分割選別装置での一次加工で、新規販売先を3社確保し、目標達成した。

2 導入技術の効果

生育予測技術

- 生育予測システムを導入し、圃場毎に収穫日を予測した。
- 出荷のばらつきを把握し、「契約数量」と「予定数量」の比較を行った。
- 出荷量の標準化や、予定数量の適合具合の向上に関して、生育予測システムの導入効果の一端を示すと考察される。



QRコードによるトレーサビリティの実証

- バイヤー、一般消費者にアンケートを実施し、満足度70%以上を獲得し目標を達成した。
- 令和3年度のアンケート結果を反映し、栽培動画以外にも、レシピ動画、JGAP認証書、SNS連携等が見られるようにシステム改修を行った。



野菜輸出

- 令和3年度にシンガポール、令和4年度にシンガポール・香港・台湾への輸出を行った。
- シンガポールの明治屋スーパーのスタッフ7名に対しアンケートを実施したところ、QRコードシステムの満足度100%を確保した。
- 鈴生のレタスは、形も揃い、パッケージも良いという評価をいただき、輸出の可能性を感じた。



ブロッコリー花蕾分割選別装置

- 花蕾分割選別装置での一次加工で、新規販売先を3社獲得し目標達成した。
- 大手スーパーで「ばらしブロッコリー」として試験販売を開始した。
- フローレトカットされたブロッコリーのニーズは非常に多いことが分かった。



3 事業終了後の普及のための取組

- 本事業の構成機関である鈴生、静岡県、ヤンマーアグリジャパン、JA静岡経済連、アグリオープンイノベーション機構のネットワーク等を活用し、情報発信を行う。
- 視察や取材等を通じ、実証成果を示したパンフレット・ビデオを用いて、普及活動が続けていく。
- HP(<https://www.oretachinohatake.com>)やSNS(<https://www.instagram.com/suzunari.official/>)で、積極的に発信を行う。

問い合わせ先 (株) 鈴生 繁田 (TEL:054-206-1203、<https://www.oretachinohatake.com>)